

2014 年度教科「理科」関連学会協議会（CSERS）シンポジウム

1 テーマ：高等学校理科で何を学ばせるか—総合的な科目の可能性と課題—

開催趣旨

高等学校では新学習指導要領の学年進行が第3学年にまで達し、すべての学年で新教育課程での授業が行われるようになりました。CSERS では、この度の学習指導要領改訂に対応し、2012年には「小学校学習指導要領になってからの一年」、2013年には「新学習指導要領は中学校理科をどう変えるか」をテーマにシンポジウムを開催してきました。今回は、高等学校理科に設けられた総合的な科目「科学と人間生活」を中心に、高等学校における科目設定のあり方について、その歴史的変遷と教師による評価、高等学校での実践、将来構想の各観点からご講演いただくことにしました。

今年度には学習指導要領の改訂準備が始まることが予想されています。多くの方の参加を得て、高等学校の次期学習指導要領改訂を見据えた論議を期待いたします。

2 開催日時と会場

平成 26 年 5 月 17 日（土）12:50～17:00(12:30 開場)

公益社団法人 日本化学会化学会館

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5 電話 03-3292-6161

JR 中央線・総武線「御茶ノ水」駅 御茶ノ水橋口 徒歩 3 分

丸の内線「御茶ノ水」出口 2 徒歩 4 分; 千代田線「新御茶ノ水」出口 B1 徒歩 5 分

3 プログラム

12:50～13:00 趣旨説明

13:00～13:50 基調講演：鳩貝 太郎氏(日本生物教育学会)

「高等学校学習指導要領理科の変遷」

13:50～14:00 休憩

14:00～14:30 講演Ⅰ：滝口 耕平氏(千葉県立館山総合高等学校(定時制)教諭)

「科学と人間生活」の実践から

14:30～15:00 講演Ⅱ：廣井 禎氏(日本物理教育学会)

「理科Ⅰ」終了時の調査から見た総合的な科目への課題。

15:00～15:30 報告：畠山 正恒氏(日本地球惑星科学連合(JpGU)教育問題検討委員会
委員長・聖光学院中学校高等学校)

「地球人として必要な内容を基盤にした総合的な理科の提案」

15:30～15:50 休憩

15:50～17:00 総合討論

4. その他

シンポジウム終了後に、シンポジウムでの成果をより深めるために講演者を囲み化学会館内で懇親会を開催いたします。こちらにもご参加下さい。参加費は無料です。

【お問い合わせ】CSERS 事務局 間々田和彦 mamada@human.tsukuba.ac.jp までお願いします。